

## 2014 年度 教育カリキュラム

	科目	単元	時間数
共通科目	<必須> 1. 看護管理	1) 変化する社会と看護管理のあり方 2) 組織について 3) 看護管理の基本 4) 組織における認定看護師の位置づけ 5) 組織の査定と組織分析の実際	15
	2. リーダーシップ	1) ヒューマンサービスの理念 2) 人間関係 3) グループダイナミクス 4) リーダーシップの概念 5) 認定看護師に求められる能力 6) リーダーシップの臨床への応用	15
	3. 文献検索・文献講読	1) 文献の検索と活用 2) 研究論文の読解	15
	4. 情報管理	1) 情報社会と医療機関の IT 化、情報の処理とコンピュータ 2) データの採り方と表し方(母集団、ランダムサンプリング) 3) アンケート調査研究の方法 4) 検定の基本(帰無仮説、有意とは、p 値の意味) 5) パラメトリック検定 6) ノンパラメトリック検定 7) 検定のパソコン演習	15
	5. 看護倫理	1) 看護における倫理の必要性 2) 看護の倫理における基礎知識 3) 倫理的看護実践のための枠組み 4) 医療・看護の場における倫理的課題の検討	15
	6. 指導	1) 人材開発とは 2) おとなを対象とした教育の原理と方法 3) インストラクショナルデザイン 4) 指導案の作成方法 5) 個別指導と集団指導 6) 指導案の作成	15
	7. 相談	1) コンサルテーションについて 2) 各分野の認定看護師が実践するコンサルテーションの事例紹介 3) コンサルテーションについての事例検討	15
	8. 臨床薬理学	1) 薬剤管理、薬剤処方に関する法令 2) 薬理学の基礎 3) 薬理学の基本 4) 薬物投与と管理 5) 安全確実な薬物投与とリスクマネジメント	15
			小計 120
	<選択> 9. 対人関係	1) 人間関係と対人関係 2) コミュニケーションの基礎知識 3) 対人関係能力	15
	10. 医療安全管理	1) 医療安全管理(リスクマネジメント)概説 2) 医療・看護事故と訴訟問題 3) 医療現場における医療安全管理	15
11. 看護理論・看護過程	1) 看護理論 2) 看護過程 3) 生命の危機状態にある患者の看護過程の展開	15	
		小計 45	

	科目	単元	時間数
専門基礎科目	1. 集中ケア看護概論	1) 集中ケアの概念 2) 集中ケアの変遷 3) 侵襲による生体反応 4) 集中治療室の環境が患者に及ぼす影響 5) 集中ケアにおける看護の役割 6) 集中ケア認定看護師の役割と機能 7) 集中ケアにおける看護倫理 8) 集中ケアにおけるケアリング 9) 集中治療室における終末期ケア 10) 集中ケアに関連する法的知識	30
	2. 集中ケアにおけるアセスメント概論	1) フィジカルアセスメント技術 2) 加齢に伴う身体・心理的变化 3) 患者・家族の心理・社会的アセスメント	30
	3. 集中ケアにおける安全管理	1) 集中治療室における安全管理 2) 集中ケアに特徴的な医療事故と防止対策 3) 生体情報モニタと特殊な検査機器使用時の安全管理 4) 生命維持装置を装着した患者の安全管理 5) 感染予防対策 6) 災害時の安全管理	15
	4. 集中ケアにおけるコミュニケーションとマネジメント	1) 集中ケアにおける患者・家族とのコミュニケーション 2) チーム医療のマネジメント 3) 看護師のストレスマネジメント	15
	5. 集中ケアにおける臨床薬理	1) 薬物動態 2) 集中ケアに用いられる主な薬剤	15
			小計 105
専門科目	1. 病態とケア 病態とケア (I)	1) 呼吸機能障害とケア 2) 循環機能障害とケア	30
	病態とケア (II)	1) 脳/神経機能障害とケア	15
	病態とケア (III)	1) 代謝機能障害とケア 2) 多臓器障害とケア	30
	病態とケア (IV)	1) 周手術期におけるケア 2) 臓器移植とケア	15
	2. 集中ケア看護技術 集中ケア看護技術 (I)	1) 呼吸リハビリテーション 2) 心臓リハビリテーション 3) 脳卒中リハビリテーション 4) 栄養管理 5) 鎮痛・鎮静管理 6) 体位管理	30
	集中ケア看護技術 (II)	1) 廃用症候群予防 2) 深部静脈血栓症予防 3) 酸素療法と管理 4) 人工呼吸療法と管理 5) 脳低体温療法と管理	15
	集中ケア看護技術 (III)	1) 摂食・嚥下障害とその予防 2) せん妄予防 3) 感染防止技術 4) 重症患者の日常生活援助 5) 家族ケア 6) 心肺蘇生技術	30
			小計 165

科目		単元	時間数																								
学内演習	1. 学内演習 学内演習(I)	1) シミュレーション学習 2) 生命の危機状態にある患者の看護過程の展開	30																								
	学内演習(II)	1) ケースレポート 2) 集中ケアに関する指導案の作成	30																								
			小計 60																								
実習	2. 臨地実習	1) 以下の(1)～(5)の患者に対する看護を通して、集中ケア認定看護師に必要な能力を身につける (事例数は3事例程度) (1) 呼吸機能障害のある患者 (2) 循環機能障害のある患者 (3) 脳神経機能障害のある患者 (4) 集中ケアを必要とする術後患者 (5) その他集中ケアを必要とする患者 2) スタッフへの指導を行う (作成した指導案の実施を含む) 3) 状況に応じて、相談役割を担う 4) カンファレンスや事例検討会へ参加する	180																								
				小計 180																							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">共通科目</td> <td style="width: 30%;">120 時間</td> <td style="width: 30%;">(+ 選択共通科目 45 時間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門基礎科目</td> <td>105 時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>165 時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>学内演習</td> <td>60 時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実習</td> <td>180 時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;">総時間数</td> <td>630 時間</td> <td>(+ 選択共通科目 45 時間)</td> </tr> </table>				共通科目	120 時間	(+ 選択共通科目 45 時間)		専門基礎科目	105 時間			専門科目	165 時間			学内演習	60 時間			実習	180 時間			総時間数		630 時間	(+ 選択共通科目 45 時間)
共通科目	120 時間	(+ 選択共通科目 45 時間)																									
専門基礎科目	105 時間																										
専門科目	165 時間																										
学内演習	60 時間																										
実習	180 時間																										
総時間数		630 時間	(+ 選択共通科目 45 時間)																								
<p>講義 : 390 時間 (+ 選択共通科目 45 時間) 26 単位 (+ 選択共通科目 3 単位)</p> <p>演習 : 60 時間 2 単位</p> <p>実習 : 180 時間 4 単位</p>																											